

看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標

(平成16年3月 看護教育の在り方に関する検討会報告)

○卒業時到達目標とした看護実践能力の構成

区分	看護実践能力
I群 ヒューマンケアの 基本に関する実 践能力	1 人の尊厳の重視と人権の擁護を基本に据えた援助行動 2 利用者の意思決定を支える援助 3 多様な年代や立場の人との援助的人間関係の形成
II群 看護の計画的な 展開能力	4 看護の計画立案・実施・評価の展開 5 人の成長発達段階・健康レベルの看護アセスメント 6 生活共同体における健康生活の看護アセスメント 7 看護の基本技術の適確な実施
III群 特定の健康問題 を持つ人への実 践能力	8 健康の保持増進と健康障害の予防に向けた支援 9 次代を育むための援助 10 慢性的疾病を持つ人への療養生活支援 11 治療過程・回復過程にある人への援助 12 健康の危機的状況にある人への援助 13 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援 14 終末期にある人への援助
IV群 ケア環境とチーム 体制整備能力	15 地域ケア体制の充実に向けた看護の機能 16 看護職チーム・保健・医療・福祉チームでの協働・連携 17 ヘルスケア提供組織の中での看護の展開
V群 実践の中で研鑽 する基本能力	18 看護実践充実に活かされる研究成果の収集と実践への応用 19 看護実践を重ねる過程で専門性を深める方法の修得